

ず～むあっぷい★

オホーツク

くねっぶ

ホクレン訓子府実証農場（訓子府町）

営農実証と農業者育成の拠点として

同農場は、昭和38年（1963年）に開設された訓子府種畜改良牧場を前身とする畜産技術実証センターが、平成28年（2016年）にホクレン営農支援センターに移管して、「ホクレン訓子府実証農場」に改称し現在に至っています。

小麦、てん菜、豆類、馬鈴薯など畑作基幹作物約12haと、酪農・肉牛施設、実験棟、研修施設なども含め約250haの敷地面積を有し、担い手向け研修会の実施など、実証研究、人材育成、情報発信を行っています。



実証農場の案内板

訓子府実証農場でのスマート農業等の取組

同農場では、ロボットトラクター実証、アスパラガス自動収穫機実証、可変施肥、農薬可変・ピンポイント散布実証、タイストール用搾乳ロボット実証など、農業の自動化/省力化、データの活用に関する技術実証のほか、担い手向け研修としてスマート農業機器等操作の基礎研修、酪農実習など新しい技術を現場で展開する人材の育成に取り組んでいます。

各地のJAや生産者単位でスマート農業の取組が進められている中、同農場での担い手育成の取組は、技術習得の機会が少なくスマート農業の効果・データが使い切れていないなどの課題の解消が期待されます。

組織、技術、人を結び、地域を結ぶ「コネクテッドファーム構想」とは

スマート農業・技術の実証、人材育成に取り組むプロジェクトとして、去る4月12日、同農場講堂において「コネクテッドファーム構想」のスタートアップミーティングが開催されました。

管内のJA、農業関係者ら約70名が参加し、コネクテッドファーム構想、同農場で取り組まれている試験概要について共有しました。

本構想は、

- ①組織のコネクト（産官学連携の促進）
- ②技術のコネクト（データと実装作業の連結）
- ③人のコネクト（先人技術を学べる場の提供）を同農場での実証を通じて形成し、
- ④地域へ結ぶコネクトを形成して、現場の技術実装の加速化を図ることを目指しています。

組織も技術も地域も基本は「人」であることから、農場での実証を通じて、地域を担う人材が育成され、北海道の先進的農業を通じて豊かな地域が生まれることが期待されます。



出典：ホクレン営農情報誌アグリポート コネクテッドファーム構想<下>より <https://agriport.jp/agriculture/ap-9494/>

作物、家畜への病害虫予防のため、圃場及び施設への立入はご遠慮ください。